二本松市 復興交付金事業計画 復興交付金事業等

基金設置の時期:	平成24年3月30日	設置の有無:	;	有											平成24年8月時点
									 各年度の	の交付対象事業費	(注4)				(単位:千円)
No. 事業番号 (注1)	事業名 (注2)	地区名施設名	交付 団体	事業 実施 主体	直接/間接	総交付対象 事業費 (注3)	うち、特定市町 村又は特定都 道県以外の者 が負担する額を 減じた額	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	全体事業費 (注5)	全体事業 期間 (注6)	備 考(注7)
1 D - 20 - 1	二本松市復興まちづくり事業計画策定事業	(二本松市) 二本松市域	市	二本松市	直接	(30,000) 0 <30,000>		(30,000) <30,000>	<0>	<0>	<0>	<0>		23 ~ 24	〈第1回分〉
2 A - 2 - 1	グラウンド照明設備整備事業	(二本松市) 安達地区 安達中学校	市	二本松市	直接	(20,405) 0 <20,405>	(20,405) 0 <20,405>	<0>	(20,405)	<0>			20,405	24 ~ 24	〈第2回分〉
3 ◆ A - 2 - 1 -	1 グラウンド照明効果促進事業	(二本松市) 安達地区 安達中学校	市	二本松市	直接	(0) 24,120 <24,120>	24,120 <24,120>	<0>	24,120				24,120	24 ~ 24	〈第3回分〉
4 C - 9 - 1	原瀬住民集会施設整備事業	(二本松市) 原セ地区 原瀬住民集会施 設	市	二本松市	直接	(0) 2,500 <2,500>	2,500 <2,500>	<0>	2,500				25,000	24 ~ 25	〈第3回分〉
5						(0)	<0>	<0>		<0>				~	
6 – –						(0)		<0>		<0>				~	
				合	計	(50,405) 26,620 <77,025>	(50,405) 26,620	(30,000)	(20,405) 26,620	(0) 0	(0) 0	(O) C			
				(うち市町	村交付分)	(50,405) 26,620 <77,025>	26,620		26,620	0	(0) 0 <0>	(0) 0 <0>			
				(うち県	交 付 分)	(0)		(0) 0 <0>			(0) 0 <0>	(0) 0 <0>			
				(うち基	幹事業)	(50,405) 2,500 <52,905>	2,500	(30,000) 0 <30,000>	2,500	0	(0) 0 <0>	(0) 0 <0>		/	
					足進事業等)	24,120 <24,120>	l	(0) 0 <0>	24,120 <24,120>		(0) 0 <0>	(0, 0 <0>			
都道県名	福島県		担当部局名		総務部企画財政							担当者		主査 朝倉	
市町村名	二本松市		電話番号		0243-55-5	090						メールア	ドレス	kikakuchos	ei@city.nihonmatsu.lg.jp

- (注1)「事業番号」は、基幹事業については、「(制度要綱別表の番号)-(同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」、効果促進事業等については、「◆(最も関連する基幹事業の事業番号)-(最も関連する基幹事業ごとの通し番号)」となるよう記載する。
- (注2)「事業名」は実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。
- (注3)「総交付対象事業費」は、「交付期間」を通じての全ての事業費を記載する。
- (注4)「全体事業費」は、「全体事業期間」を通じての全ての事業費を記載する。
- (注5)「全体事業期間」は、平成28年度以降に実施することが見込まれる事業については、平成28年度以降も含めて記載をする。
- (注6)年度間調整又は事業間流用を行った場合には、「備考」に年度間調整又は事業間流用を行った旨、その時期及び額を記載する。なお事業間流用を行う場合には、流用する(流用される)事業名も合わせて記載する。
- (注7)担当者氏名等は県及び市町村の担当者を並べて記載する。
- (注8)上段()書きは、前回までに配分された額を記載し、中段には今回申請する額を記載する。なお、下段< >書きについては、自動計算される。
- (注9)各年度の交付対象事業費(中段)のうち、様式1-4で提出された年度の値が配分(申請)に係る交付対象事業費となる。

二本松市 復興交付金事業計画 平成24年度 復興交付金事業等

								当該年度(注4)	年度間調整額(注5) (該当する場合のみ記載)				
No.	事業番号 (注1)	事業名 (注2)	地区名施設名	交付 団体	事業 実施 主体	直接/間接	基本 国費率 (a) (注3)	交付対象事業費 (b)	交付対象事業費のうち、特 定市町村又は特定都道県 以外の者が負担する額を 減じた額 (c)	基幹事業の場合	年度間 調整額 (国費) (e)	調整後の 交付金 交付額 (f)=d-e	備考
2	A - 2 - 1	グラウンド照明設備整備事業	(二本松市) 安達地区 安達中学校	市	二本松市	直接	1/3	(20,405 0 <20,405>	0	0			
3	◆ A - 2 - 1 - 1	グラウンド照明効果促進事業	(二本松市) 安達地区 安達中学校	市	二本松市	直接	4/5	(0 24,120 <24,120>) (0) 24,120	(0) 19,296			
								24,120	Z4,120/	₹19,290			
							合計額	(20,405			(0)	(0)	
							니마다	24,120 <44,525>		19,296 <32,899>	0 <0>	0 <0>	

都道県名	福島県	担当部局名	総務部企画財政課	担当者氏名	主査朝倉正典
市町村名	二本松市	電話番号	0243-55-5090	メールアドレス	kikakuchosei@city.nihonmatsu.lg.jp

- (注1)「事業番号」は、基幹事業については、「(制度要綱別表の番号)-(同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」、効果促進事業等については、「◆(最も関連する基幹事業の事業番号)-(最も関連する基幹事業ごとの通し番号)」となるよう記載する。
- (注2)「事業名」は実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。
- (注3)「基本国費率」は、各交付担当大臣が定める交付要綱に規定される国費率を指す。(制度要綱第2の1の(3)におけるbと同様)
- (注4)基金を造成して復興交付金事業等を実施する場合、(b)欄には、当該年度に実施する事業の事業費を、(c)欄には事業費のうち特定市町村又は特定都道県以外の者が負担する額を減じた額を、(d)欄には基金からの取崩額を記載する。
- (注5)「年度間調整額」の(国費)(e)は、前年度に制度要綱第1の7の④に該当した場合に記載する。
- (注6)上段()書きは、前回までに配分された額を記載し、中段には今回申請する額を記載する。なお、下段く >書きについては、自動計算される。

二本松市 復興交付金事業計画 平成24年度 復興交付金事業等

							当該年度(注4)	整額(注5) i合のみ記載)	(+ 2 : 11 :				
No.	事業番 号 (注1)	事業名 (注2)	地区名施設名	交付 団体	事業 実施 主体	直接/間接	基本 国費率 (a) (注3)	交付対象事業費 (b)	交付対象事業費のうち、特 定市町村又は特定都道県 以外の者が負担する額を 減じた額 (c)	基幹事業の場合	年度間 調整額 (国費) (e)	調整後の 交付金 交付額 (f)=d-e	備考
4	C - 9 - 1	原瀬住民集会施設整備事業	(二本松市) 原セ地区 原瀬住民集会 施設	市	二本松市	直接	1/2	(0) 2,500 <2,500>		(0) 1,875 < 1,875>			
								2,300	\2,300>	\1,070 <i>></i>			
								(0	(0)	(n)	(0)	(0)	
							合計額	2,500 <2,500>		1,875 <1,875>	0 <0>	0 <0>	

都道県名	福島県	担当部局名	総務部企画財政課	担当者氏名	主査朝倉正典
市町村名	二本松市	電話番号	0243-55-5090	メールアドレス	kikakuchosei@city.nihonmatsu.lg.jp

- (注1)「事業番号」は、基幹事業については、「(制度要綱別表の番号)-(同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」、効果促進事業等については、「◆(最も関連する基幹事業の事業番号)-(最も関連する基幹事業ごとの通し番号)」となるよう記載する。
- (注2)「事業名」は実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。
- (注3)「基本国費率」は、各交付担当大臣が定める交付要綱に規定される国費率を指す。(制度要綱第2の1の(3)におけるbと同様)
- (注4)基金を造成して復興交付金事業等を実施する場合、(b)欄には、当該年度に実施する事業の事業費を、(c)欄には事業費のうち特定市町村又は特定都道県以外の者が負担する額を減じた額を、(d)欄には基金からの取崩額を記載する。
- (注5)「年度間調整額」の(国費)(e)は、前年度に制度要綱第1の7の④に該当した場合に記載する。
- (注6)上段()書きは、前回までに配分された額を記載し、中段には今回申請する額を記載する。なお、下段く >書きについては、自動計算される。